

城山エコミュージアム通信

2011. 9. 30 第9号

ホームページ <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kyouiku/20856/index.html>



エコミュージアムとは、**エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）の造語**で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然、について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

活動開始10周年にむけて



火おこし体験

船による投網

シンポジウム

エコミュージアムツアー

博物館での写真展

大山みちマップ



今まで発行したツアーガイドブック
6月に小倉コースも発行しました

城山エコミュージアムの活動は、平成24年度で本格的に活動を開始して10年目を迎えます。そこで10周年記念事業として、今までのエコミュージアムツアーのデータ等を盛り込んだセルフガイドマップ（地図）を製作してゆくことになりました。今後は、皆さんに城山地域のことを学べるしくみ（セルフガイドシステム）の推進と学習のための城山学校の開設などを検討していきます。



今までのおもなゆめ

- 平成13年度 基礎調査の実施
- 平成14年度 基本構想・計画等の策定
- 平成15年度 ワークショップの開催
- 平成16年度 エコミュージアムツアーの開催
- 平成17年度 リーフレットの作成、説明板の設置
- 平成19年度 推進協議会の設置
- 平成20年度 昔の写真的収集及び展示
- 平成21年度 昔の地図の作成準備
- 平成22年度 相模原市と城山町合併旧町のエコミュージアムを継承（エコミュージアムツアーやシンポジウムの開催、推進協議会など）
- 平成23年度 ツアーガイドブック（5コース）の発行
- 平成24年度 昔の地図「大山みち」の作成
- 平成25年度 中沢自治会文化祭へ協力（昔の写真的貸出し）
- 平成26年度 城山公民館主催市民力レック「歴史講座」の講師として、育てる会のメンバーが協力
- 平成27年度 ワークショップを5つの部会を設置
- 平成28年度 市立博物館にて昔の写真展開催、同講演会開催
- 平成29年度 エコミュージアム通信を市ホームページに掲載

※平成15年以降ツアーは毎年開催中。

新連載♪

知ってナットク！しroyama

城山 検定



【第1問】 上の写真を見てください。
これは何をしているところでしょうか。



ヒント：川ですること。場所は相模川（小倉）。
さがみがわ おくら

小倉橋の近くに船の大行列！みんなが
何をしているのかよ～く、見てみよう！



なるほど！豆知識

むかし おくら ちいき おくら むら
昔 小倉地域が小倉村とよばれた頃は、川稼ぎといわれた仕事がありました。
うんじょうきん ぜいきん おさ りょう とあみ
運上金という税金を納めれば漁をすることができました。漁の方法には、投網の
う他、鵜での漁もあったそうです。しかし川稼ぎだけで1年の暮らしを支えるのは難し
むすかかったようです。（城山エコミュージアムのみちⅥ小倉コースガイドブックより）



岸边、川、船
いろいろな
方法で釣る
様子



あゆつ かいきん
昔は鮎釣りが解禁になると、今以上に多くの
つ かた つ ぶね
人でにぎわいました。釣りは、どぶ釣り、船
つ とあみ あみ な ほうほう
釣り、投網（網を投げて魚を取る方法）など様々
ともつ げんてい
でした。今の釣りは友釣りのみに限定されて
いますが、相模川では季節になると鮎釣りの光
景が見られます。



河原も釣り人達
で大にぎわい

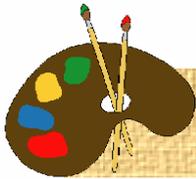


答え：鮎釣り
あゆつ



城山地域のさまざまなことについて、子どもから大人まで気軽にたのしく学べる
検定です。今後もこの通信に掲載してゆきますので、おたのしみに！

次号の城山エコミュージアム通信は、12月発行予定です。



城山探訪

今回は今年のツアーで回る場所を
すこしだけ 紹介します。



緑区久保沢にある起点の碑

かまくら きてん 鎌倉みち起点 (緑区久保沢)

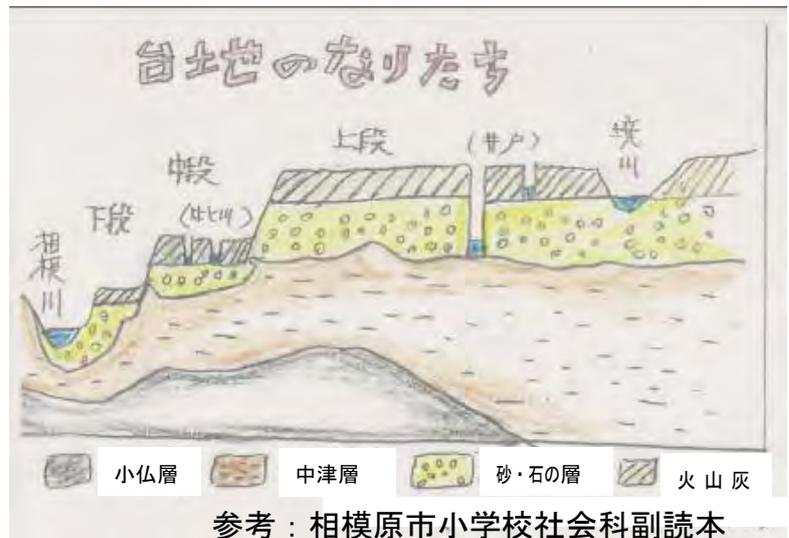
旧城山町役場から久保沢への道、通称温泉坂へ下ろうとする五叉路に分かれる地点に、この地では「八里橋なし九里の土手といわれた鎌倉往還の起点と伝えられる」と記された石碑があります。かつて明治生まれの古老が語った言葉をそのまま石に刻んだものです。往還とは街道のことで、ここが出发点ということです。

鎌倉街道はいくつかありますが、「八里橋なし…」と言われた相模川が相模原台地に造った河岸段丘もその一つです。北から上州（群馬県）や武蔵（埼玉県・東京都）からも、また西の甲州（山梨県）からの道も山坂を越え川を渡って、ここ津久井の久保沢に出ます。ここからはおだやかな段丘（土手）に沿って、川を越える苦労もなしに行くことのできる鎌倉街道はここから始まると昔の人は語り伝えたということです。

さがみ かがんだんきゅう 相模の河岸段丘

今回のツアーの舞台の紹介。
私達が住む相模原台地は、北から南へ緩やかに傾斜しています。これは相模川が山間部から平野部に流れ出た所に造られたかつての扇状地である為で、更に相模川に沿って3つの河岸段丘（階段状の地形）から成り立っています。

これは相模川が台地を削り、浸食と堆積、地盤の隆起などを繰り返して出来ました。段丘は、高い方から上段「相模原面」、中段「田名原面」、下段「陽原面」と呼ばれ、木々の茂る10～40mの急斜面（段丘崖）によってその境が出来ています。
(市のホームページより)



城山エコミュージアムツアー おまちかね… いよいよ開催!

テーマ **鎌倉みち起点から相模野台地を歩く～村境に点在する謎のスポット～**
開催日 **10月15日(土) 午前9時～午後4時【小雨決行】**雨天時は22日(土)に延期。
コース 久保沢～向原～大島界～相模川清流の里～トロッコみち等の自然、歴史等
当日の様様については、次号のエコミュージアム通信で紹介をします。おたのしみに♪



秋のしろやま 見どころ紹介

彼岸花(ひがなばな)の不思議

毎年、秋のお彼岸のころになると、地中から花茎を出して花を咲かせます。どうやって季節を知るのか不思議ですが、彼岸花には他にも変わった特性があります。元々大陸から持ち込まれた帰化植物で、種を作らずに球根でふえます。なぜ、日本の風土に適応し、繁殖していったのでしょうか。

城山地区で見られる群生地の中の1つ、都井沢の八木さんに話を伺いました。このばけ地蔵付近の斜面に群生している彼岸花は、「昔から生えていて、自然にふえてここまですなりました。裏の大木を切って日当たりが良くなってから多くなったようです。上のお宅と共同で草刈などしてこの土手を維持しています」。とのことでした。昔ながらの風情を残してくれるこの風景、いつまでのこのままであって欲しいと願わずにはいられません。



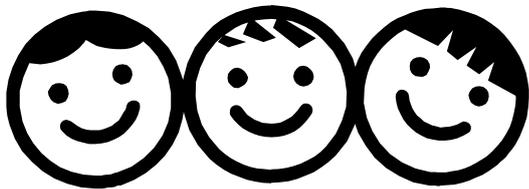
Information



一緒に活動してみませんか？

NEW! メンバー募集中!

「地元について知りたい！」
「地元大好き」な方大歓迎！
自然が大好き な方も募集開始！



城山エコミュージアムを育てる会のメンバーは、それぞれの興味にあわせボランティアで活動しています。
高校生以上の方ならどなたでも参加可能！
まずは見学してみませんか？
詳しくは右記まで。ご連絡をお待ちしています。

活躍できる場面がたくさんあります

★チラシ・新聞づくりに興味がある方、この紙面と一緒に作ってみませんか？★地図作りが得意な方★絵を描くのが好きな方★写真撮影なら協力可能という方★歴史や民俗、地域の古道などに興味がある方など。

みなさまのご来場をお待ちしています！

今年のテーマは民俗 昔の写真展

テーマ:『なつかしい情景～地域の風習～』



開催日: 11月2日(水)、3日(祝)
城山地区文化祭にて展示

会場: 城山公民館 2階 第2会議室

毎年好評をいただいている写真展。

今年は民俗的な視点から、人の一生をテーマに開催。同時に八木蔦雨氏の写真も展示します。ぜひご覧ください。

企画/作成: 城山エコミュージアムを育てる会

発行: 相模原市教育委員会 生涯学習課 城山教育班

問い合わせ: TEL: 042-783-8184 【直通】

FAX: 042-782-1290

この通信のバックナンバーは、ホームページ(パソコン)からもダウンロードできます。携帯でも活動内容をご覧いただけます。

